

ポーランド政治・経済・社会情勢

(2017年4月6日～2017年4月12日)

平成 29 年(2017 年)4 月 14 日

H	E	A	D	L	I	N	E	S
<p>政治</p> <p>内閣不信任決議案の否決 スモレンスク政府専用機墜落事故7周年記念式典 スモレンスク政府専用機墜落事故調査小委員会の調査結果発表 「近代」の下院議員4名の市民プラットフォーム(PO)への移籍 アナコンダ演習の第1回調整会議開催 イタリア国防大学校長, 作戦司令部等を訪問 参謀総長, 軍の体制移行について発言 国防副大臣, 軍の近代化計画について発言 米軍のシリアに対する軍事攻撃に関する外務省声明 ロシア政府設置の案内版に関する外務省声明 スtockホルム市内におけるトラック突入事件に関するポーランド政府の反応 モタチェフスキ准将, 北東多国籍師団長に任命 ベラルーシ軍, ポーランド国境付近でロシア軍と共同訓練 ポーランド・アゼルバイジャン外相会合 ポーランド・モルドバ外相会合 国家安全保障長官, NATO部隊を常設駐留すべきと発言 国防年次会議, 開催 V4+東方パートナーシップ外相会合 ポーランド・スウェーデン外相会合 ポーランド・エストニア外相会合 ミシェヴィチ元国防相政策局長・報道官の公職追放, 「法と正義」党籍停止</p>								<p>【お願い】3か月以上滞在される場合、「在留届」を大使館に提出してください。大規模な事故・災害等が発生した場合、所在確認・救援の根拠となります！ 問合せ先大使館領事部 電話 22 696 5005 Fax 5006 各種証明書, 在外投票, 旅券, 戸籍・国籍関係の届出についてもどうぞ。</p>
<p>経済</p> <p>中央空港建設計画 給与の現金払いの制限 3月の失業率 ポーランドのGDPがEU全体の約3%に 3月の倒産件数 3月の物価上昇率 年金受給年齢引き下げの影響 第1四半期のVAT徴収率が対前年比40%増 第一四半期の海外直接投資動向 PAIHがテヘランに事務所開設 米国とのエネルギー関係に関するモラヴィエツキ副首相の発言 中国と電気自動車開発に協力 ポーランドにおける貧困が縮小</p>								
<p>大使館からのお知らせ</p> <p>長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意 パスポートダウンロード申請書のご案内 大使館広報文化センター開館時間 文化行事・大使館関連行事</p>								

読者からのお知らせ

「日本で生まれたクラシック音楽を知っていますか？」VOL. 2 響の出会い: 日本とヨーロッパ

ポーランド日本国大使館

ul.Szwolczerow 8, 00-464 Warszawa Tel:+48 22 696 5000http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm

政 治

内 政

内閣不信任決議案の否決【7日】

7日、市民プラットフォーム(PO)等の野党が共同して下院に提出したシドゥウォ内閣に対する不信任決議案の投票が実施され、賛成174票、反対238票、棄権4票で否決された。ポーランドの憲法上、不信任決議案が通過するには、議席の過半数以上の231票が必要である。

スモレンスク政府専用機墜落事故7周年記念式典【10日】

10日、2010年の政府専用機墜落事件の7周年記念式典が大統領府で開催され、ドゥダ大統領は大統領宮殿前で演説を行い、和解と相互尊重を呼び掛け、ワルシャワのポヴォンスキ墓地において、犠牲者96人を記念する記念碑に献花した。また、首相府では事件で死亡したカチンスキ元大統領、ゴシェフスキ元副首相及びヴァセルマン首相府元長官を記念する記念碑の開幕式が開催された。

スモレンスク政府専用機墜落事故調査小委員会の

調査結果発表【10日】

10日、スモレンスク政府専用機墜落事故調査小委員会は、同政府専用機が墜落したのは、ロシア側が主張してきたパイロットの操縦ミスではなく、スモレンスク空港の管制官がパイロットに伝達した着陸データに約0.5kmのずれがあり、パイロットが滑走路から約1km離れた地点に着陸を試みることを招いたためであり、また、同事故の遺体4体以上から墜落後の火事からは説明のつかない高熱にさらされた跡が発見されたことから、機体の爆発も同事故の原因であり、事故機には燃料気化爆発物(Thermobaric)が存在したことが示唆される旨発表した。

「近代」の下院議員4名の市民プラットフォーム(PO)への移籍【12日】

12日、近代党の4名の下院議員がPOへの移籍を発表した。この内3名は10日に近代党より除籍処分を受けていた。ペトル近代党党首は、同4名の議員はPOから説得され移籍した、POは野党間の良好な協力に対して関心を持っていないと批判した。

外交・安全保障

アナコンダ演習の第1回調整会議開催【4~5日】

4~5日、統合作戦司令部は、主要参加国の代表者、全般司令部等を招致し、アナコンダ18演習の第1回調整会議を開催した。同演習は2年に1度ポーランド国内で開催されている大規模演習で、訓練科目は、対ハイブリッド戦、統合火力調整、統合目標情報調整、統合兵站等の予定である。

イタリア国防大学校長、作戦司令部等を訪問【6日】

6日、イタリア国防大学校長ボルジーニ准将は、国防大学及び統合作戦司令部を訪問し、士官教育、国外任務、作戦司令部の任務・役割等を意見交換した。

参謀総長、軍の体制移行について発言【6日】

6日、参謀総長スラフスキ中將は、現状の参謀総

長、統合全般司令官及び統合作戦司令官の3人の指揮官を有する体制から単純化すべきと述べるとともに、体制移行の準備所要は大きく、2018年1月までに完了できないかもしれないと付言した。

国防副大臣、軍の近代化計画について発言【6日】

6日、コブナツキ国防副大臣は、軍の近代化計画について、中距離地对空ミサイルのビスワ計画においては、FMS(対外有償援助)により取得する方針で、米国と契約する可能性が高く、短距離地对空ミサイルのホマー計画においては、米国、イスラエル及びトルコの三ヶ国と調整を行っている旨述べた。

米軍のシリアに対する軍事攻撃に関する外務省声明【7日】

7日、外務省は、米国のシリアへの攻撃をシリア

空軍によるイドリブ市周辺への化学兵器の使用を含む野蛮な攻撃に対する適切な対応であったと評価する旨の声明を発表した。

ロシア政府設置の案内版に関する外務省声明【7日】

7日、外務省は、ロシア政府が同国内スモレンスク州西部カチンにあるポーランド人戦没者墓地に、1919-1921年のポーランド・ソ連戦争時にポーランド側に捕まり死亡したソ連捕虜の人数について誤った数値が掲載された案内版を設置したことに対し、強い懸念と失望を表明する旨の声明を発表した。

ストックホルム市内におけるトラック突入事件に関するポーランド政府の反応【7日】

7日、同日に発生したストックホルム市内におけるトラック突入事件に関し、ドゥダ大統領はカール16世グスタフ国王宛てに弔辞のメッセージを送付し、外務省も哀悼の意を表する声明を発表した。

モタチェフスキ准将、北東多国籍師団長に任命【8日】

8日、モタチェフスキ准将は、国防大臣よりNATOの北東多国籍師団(MND-NE)長に任命され、編成準備を担当する。同司令部は、280名で編成され、ポーランド軍の75名の他、現在まで米国の10名、チェコの6名等NATO各国から32名の派遣の調整を得ている。

ベラルーシ軍、ポーランド国境付近でロシア軍と共同訓練【10~13日】

10~13日、ベラルーシ軍第106空挺師団は、ポーランド国境付近のブレストの演習場において、ロシア軍と共同の空挺降下訓練を行った。訓練参加人数は約500名、約50個の物量投下を行った。

ポーランド・アゼルバイジャン外相会合【11日】

11日、ヴァシチコフスキ外相は、ポーランド訪問中のメメディヤロフ・アゼルバイジャン外相と会談し、二国間関係の強化の可能性、地域安全保障6月に予定されるアリエフ・アゼルバイジャン大統領のポーランド訪問への準備等の意見交換を行った。今回の外相会談は、2009年以来の二国間外相会談であった。

ポーランド・モルドバ外相会合【11日】

11日、ヴァシチコフスキ外相は、ポーランド訪問中のガルブル・モルドバ外相と会談し、二国間関係、モルドバのEUとの連合協定、安全保障等について意見交換を行った。

国家安全保障長官、NATO部隊を常設駐留すべき

と発言【11日】

11日、ソロフ国家安全保障長官は、ロシアがカーリーニングラード州の戦力及びバルト艦隊を増強しており、また、本年9月に実施されるザパド17演習は不透明な内容が多い等、安全保障上の懸念は増しており、ポーランドに展開しているNATO部隊を常設駐留すべきである旨述べた。

国防年次会議、開催【12日】

12日、国防省はドゥダ大統領、マチェレヴィチ国防大臣、ソロフ国家安全保障局長官、参謀総長、統合全般司令官、統合作戦司令官等が参加し、前年の業績及び本年の業務予定等を審議する国防年次会議を開催した。大統領は、会議後の記者会見で、北東多国籍師団司令部(MND-NE)準備、中距離地对空ミサイル、近距離地对空ミサイル、潜水艦を優先する軍近代化計画、領域防衛部隊及びサイバ一部隊の創設、2019年までに15万人、2022年までに20万人へと兵員数の増強について発表を行った。

V4+東方パートナーシップ外相会合【12日】

12日、V4諸国及び東方パートナーシップ外相会合がワルシャワにて開催され、右10カ国の外相に加え、クロアチア、エストニア、ルーマニア及びスウェーデンの外相、ブルガリア及びスロベニアの外務副大臣、ハーンEU近隣政策担当委員及び英国、マルタ、欧州対外行動局の高官が出席し、EUの東方政策及び東方パートナーシップについて意見交換した。また、V4諸国は、EUの東方政策に関する共同声明を発表した。

ポーランド・スウェーデン外相会合【12日】

12日、ヴァシチコフスキ外相は、ポーランド訪問中のヴァルストロム・スウェーデン外相と会談し、二国間関係、バルト海地域及びEU情勢につき意見交換した。

ポーランド・エストニア外相会合【12日】

12日、ヴァシチコフスキ外相は、ポーランド訪問中のミクセル・エストニア外相と会談し、二国間関係、地域協力及び英国のEU離脱を含めた欧州情勢につき意見交換した。

ミシェヴィチ元国防省政策局長・報道官の公職追放、「法と正義」党籍停止【12日~13日】

与党「法と正義」はカチンスキ党首の指示で設置されたミシェヴィチ元国防省政策局長・報道官の国営軍事企業PGZ社への就職に不適切な状況があったと指摘、同人は党を離脱した。また、政府は同人の政府役職等への就任は排除されると発表した。同人はマチェレヴィチ国防大臣と極めて近い関係にある。

経 済

経済政策

中央空港建設計画【6日】

プルス・ビジネス紙によれば、ワルシャワとウッチの間に建設が予定されている中央空港は、周辺施設の建設も含めた費用総額は82億ユーロとなる予定。約8割はEUを中心とする外部の資金で賄われ、建設期間は約10年と見込まれている。4月後半に政府は担当委員を任命する予定である。

給与の現金払いの制限【10日】

開発省は、脱税対策の一環として、給与の現金払いを制限する方針を発表した。現在ポーランド企業の87%は口座振込で給与を支払っているが、開発省は他の企業についても口座振込等の電子的な支払いにより間接経済対策となるとしている。

マクロ経済動向・統計

3月の失業率【6日】

家族・労働・社会政策省によれば、3月の失業率は8.2%で、2月から0.3ポイント減となった。同省は、2017年末には7%台まで下がる見込みとしている。

の下落と、ズロチ高によるガソリン等の輸入価格の下落とみられている。

ポーランドのGDPがEU全体の約3%に【10日】

欧州委統計局(EUROSTAT)によれば、2016年のポーランドのGDPは4,246億ユーロでEU中8番目であり、EU経済の2.9%を占める。最大はドイツ(21%)で、次いで英国(16%)、フランス(15%)、イタリア(11%)、スペイン(8%)、オランダ(5%)となった。

年金受給年齢引き下げの影響【12日】

スキバ財務副大臣は、昨年12月に法案が成立した年金受給年齢引き下げ(現行の男66歳、女61歳から各々65歳、60歳に引き下げ)実施により、GDPの約0.5%にあたる100億ズロチの歳出が見込まれると発言。ただし、今後財政赤字の縮小が期待されるため財政への影響は限定的としている。

3月の倒産件数【12日】

ユーラー・エルメス社によれば、ポーランドの3月の倒産件数は78件で、対前年同月比で10件増加した。2017年第一四半期では合計224件が破産している。最も多いのはサービス部門(25件)で、比較的少ないのは建設(9件)及び運輸部門(5件)だった。

第1四半期のVAT徴収率が前年比40%増【12日】

スキバ財務副大臣は、2017年第一四半期の付加価値税(VAT)徴収率が前年同期比で40%増加したと発表した。

3月の物価上昇率【12日】

中央統計局(GUS)によれば、3月の物価上昇率は対前年同月比2%だった。2月の2.2%から0.2ポイント減少した主な理由は、野菜等の食品価格

第一四半期の海外直接投資動向【12日】

プルス・ビジネス紙他によれば、2017年第一四半期に、約2,000社の外国資本企業がポーランドで登録しており、2015年第一四半期の1,600社、2016年第一四半期の1,700社から増加傾向にある。約7割が個人投資家で、45%がマゾヴィエツキ県に拠点を置いており、最も人気のある都市はワルシャワ、クラクフ、ヴロツワフとのこと。

ポーランド産業動向

PAIHがテヘランに事務所開設【12日】

今般、ポーランド貿易・投資庁(PAIH)はテヘラン事務所を開設した。ポーランド人所長と2名の現地スタッフで運営される。PAIHのフェドコ副総裁は、多くのポーランドの中小企業に同事務所の活用を呼びかけた。PAIHは約70の海外事務所の開設を

計画しており、現在テヘランに加え、上海、シンガポール、ナイロビ、ホーチミン及びサンフランシスコに事務所がある。本年後半には、メキシコシティ、トロント、ロンドン、ミラノ、フランクフルト及びブダペストへの事務所の開設を予定している。

エネルギー・環境

米国とのエネルギー関係に関するモラヴィエツキ副首相の発言【7日】

モラヴィエツキ副首相は、テレビ番組のインタビューにおいて、先日の米国訪問におけるペリー・エネルギー長官との会談に関し、米国とポーランドはノルド・ストリーム2パイプラインについて意見交換を行い、本計画への懸念を共有したと述べた。また、米国からのシェールガス調達についても、1年以内には合意を得られるとの見通しを述べた。

中国と電気自動車開発に協力【12日】

トフジェフスキ・エネルギー大臣は、苗・中国工業情報化部長との間で、電気自動車の開発にかかる協力文書に署名した。同省発表によれば、協力は情報交換、経験の共有、視察、産学間の協力枠組の構築、研究開発協力等を対象としている。トフジェフスキ・エネルギー大臣は、中国企業との電気自動車開発協力の可能性は非常に大きく、電池、自動車向けIT等の企業の参画が期待できると述べた。

その他**ポーランドにおける貧困が縮小【8日】**

中央統計局によると、ポーランドにおける貧困層は、2005年は人口の45%、2008年は約30%、2015年は23.4%にまで縮小した。この劇的な改善について、専門家は労働市場の好調さや農家への補助金支給による雇用拡大と指摘している。現在の失業率は概ね5.5%、約120万人だが、2

005年当時は290万人であったことになる。また、子供のいる家庭の状況は改善しているものの、母子／父子家庭では悪化している。本統計は2015年、すなわち児童手当の導入や最低賃金等の引上げ等の政策導入前のものである。同専門家は今後も状況は改善すると見ている。

大使館からのお知らせ**長期滞在を目的にシェンゲン協定域内国に渡航する際の注意**

最近、ドイツ以外のシェンゲン協定域内国に長期滞在を目的と申告した邦人が、経由地であるドイツでシェンゲン協定域内への入国審査を受ける際に入国管理当局から(1)最終滞在予定国の有効な滞在許可証、(2)ドイツ滞在法第4条のカテゴリーD査証(ナショナル・ビザ)、又は(3)同D査証に相当する滞在予定国の長期滞在査証の提示を求められ、これを所持していないために入国を拒否される事例が発生しております。

このため、現地に到着してからの滞在許可証取得を予定し、最初にドイツ入国を予定している場合には、注意が必要です。

ドイツ以外の国では同様の事例は発生しておりませんが、シェンゲン協定域内国での長期滞在を目的に渡航する場合には、滞在国及び経由国の入国審査、滞在許可制度の詳細につき、各国の政府観光局、我が国に存在する各国の大使館等に問い合わせるなどし、事前に確認するようにしてください。詳しくは下記リンク先をご覧ください。

<http://www2.anzen.mofa.go.jp/info/pcsafetymeasure.asp?id=173>

パスポートダウンロード申請書のご案内

本年1月4日から、パスポートダウンロード申請が開始されています。日本国外でパスポート申請を行う方は、ご自宅などでこれらの申請書をダウンロードし、必要事項を入力・印刷することで、パスポートの申請書が作成できるようになります。詳しくは、下記リンク先をご覧ください。

http://www.mofa.go.jp/mofaj/ca/pss/page3_001509.html

【お知らせ】大使館広報文化センター開館時間

月曜日9:00-19:00 火曜～金曜日9:00-17:00

当センターでは、日本関連行事や各種展示のほか、マンガコーナーを含む書籍の閲覧、本・CD・DVD等の貸出しを行っています。

イベント情報: <https://www.facebook.com/JapanEmb.Poland>

問合せ先: 在ポーランド日本大使館広報文化センター(電話: 22-584- 73 00 , E メール:

info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所: Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

文化行事・大使館関連行事

【開催中】日本の浮世絵展「女：美・カ・忘我」【2月14日(火)～5月3日(火)】

クラクフ国立博物館にて、「女性」をテーマとした浮世絵展が開催中です。浮世絵の他、着物、帯、屏風、鏡、かんざし等も展示されています。

開催場所：クラクフ国立博物館, Al. 3 Maja 1

詳細：<http://mnk.pl/wystawy/onna-piekno-sila-ekstaza>

【開催中】「江戸への旅」浮世絵展【2月25日(土)～5月7日(日)】

ワルシャワ国立博物館にて、イェジ・レスコヴィッチ氏所蔵コレクションによる浮世絵展が開催中です。

開催場所：ワルシャワ国立博物館, Aleje Jerozolimskie 3

詳細：<http://www.mnw.art.pl/>

【開催中】ポフシン植物園における日本月間【4月6日(木)～5月7日(金)】

ワルシャワにて、ポーランド科学アカデミー植物園・ポフシン生物多様性保全センター主催による「ポフシン植物園における日本月間」が開催中です。入場料：10PLN。

プログラム：

4月6日～5月3日：ルドミワ・コツ氏及びロムアルド・ザビエルスキ氏による日本の写真展

4月1日～5月7日：スタニスワフ・ロシュコフスキ氏による写真展「桜と日本」

5月6日～7日：観賞用日本鶏の展示会

開催場所：ワルシャワ市（マゾフシェ県）、ポーランド科学アカデミー植物園・ポフシン生物多様性保全センター、ul. Prawdziwka 2

詳細：<http://www.ogrod-powsin.pl/dzialalnosc-kulturalna/plan-wystaw-i-wydarzen-kulturalnych-2017>

【予定】映画上映会：言の葉の庭【4月19日(水)】

ビドゴシチ市の国際アニメ映画祭「アニモツイエ」にて、日本のアニメ「言の葉の庭」（2013年、新海誠監督）が上映されます。入場無料。

開催場所：クヤヴィー＝ポモージェ県西部県、ビドゴシチ市、MOZG, ul. Parkowa 2

詳細：<https://www.facebook.com/events/1465257016881905/>

【予定】夏坂真一郎氏によるレクチャーデモンストレーション「日本のフィギュアの世界」【4月20日(木)17:30～】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、夏坂真一郎氏によるレクチャーデモンストレーション「日本のフィギュアの世界」が開催されます（日本語、ポーランド語逐次通訳）。入場無料。座席に限りがありますので、参加ご希望の方は事前にご連絡ください。

開催場所：在ポーランド日本大使館広報文化センター（電話：22 -584 -73 00, E メール：

info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

詳細：<http://www.pl.emb-japan.go.jp/files/000244301.pdf>

【予定】日本文化祭・全ポーランド美術コンクール式典【4月20日(木)】

ティヒ市にて、ティヒ市第2青少年文化会館主催による『日本文化祭・全ポーランド美術コンクール「マンガファクトリー」式典』が開催されます。書道、生け花、茶道、武道のワークショップ・デモンストレーションなどが予定されています。

開催場所：シロンスク県、ティヒ市, ul. Elfów 56

詳細：<http://www.mdk2tychy.pl/>

【予定】第11回ウッチ大学日本文化デー【4月22日(土)～23日(日)】

ウッチ市にて、八雲琴クラブ協会主催による『第11回ウッチ大学日本文化デー』が開催されます。日本についての講義、武道デモンストレーション、ワークショップなどが予定されています。

開催場所：ウッチ県、ウッチ市, ul. Rewolucji 1905 r. 39/41

詳細：<http://yakumo-goto.pl/index.html>

【予定】金継ぎ展【4月24日(月)～5月8日(月)】

在ポーランド日本大使館広報文化センターにて、金継ぎで修復された器の展示が開催されます。

開催場所：在ポーランド日本大使館広報文化センター（電話：22 -584 -73 00, E メール：

info-cul@wr.mofa.go.jp, 住所：Al. Ujazdowskie 51, Warszawa)

【予定】日本デー【4月26日(水)】

ザブジェ市にて、ザブジェ市第14中・高等学校主催による『日本デー』が開催されます。様々なワークショップ（書道、折り紙、切り紙、碁、漫画展）や日本知識クイズなどが予定されています。

開催場所：ドルノシロンスキエ県、ザブジェ市, ul. Korczoka 98

詳細：<http://www.zso14.eu/?id=5>

【予定】学会「東と西の間で：文化・哲学・芸術・スポーツの一面としての伝統武道」及び空手大会【4月28日(金)～30日(日)】

グダンスク市にて、ポーランド伝統空手連盟グダンスク支部主催による学会「東と西の間で：文化・哲学・芸術・スポーツの一面としての伝統武道」及び伝統空手リーグ大会、日本に関する講義などが予定されています。

開催場所：ポモージェ県、グダンスク市、スポーツ大学メインホール, ul. Kazimierza Górskiego 1

詳細：

<http://www.karate.pomorze.pl/aktualnosci/ogolnopolska-konferencja-naukowa-miedzy-wschodem-i-zachodem/>

読者からのお知らせ

【予定】「日本で生まれたクラシック音楽を知っていますか？」VOL. 2 響の出会い：日本とヨーロッパ【4月23日(日)19時～】(入場無料)

ショパン音楽大学 ul. okólnik 2 Warszawa, メルツェラホールにて、日本をテーマにした演奏会がショパン音楽大学で開催されます。

プログラム等は以下のとおり。

箕作秋吉 (1895-1971) さくらさくら (チェロとピアノのための) (1958)

尾崎宗吉 (1915-1945) 夜の歌 (チェロ・ピアノ) (1943)

チェロとピアノのためのソナタ (1937)

山田耕筰 (1886-1965) この道 (1927) (作詞 北原白秋)

P. Perkowski (1901-1990) 和歌(百人一首より)(1924)

心あてに 折らばや折らむ 初霜の おきまどはせる 白菊の花
うかりける 人を初瀬の 山おろしよ はげしかれとは 祈らぬものを
有馬山 猪名の笹原 風吹けば いでそよ人を 忘れやはする
めぐり逢ひて 見しやそれとも わかぬ間に 雲がくれにし 夜半の月か
な 八重葎 しげれる宿の さびしきに 人こそ見えね 秋は来にけり

前田卓央 (1916-1981) チェロとピアノのための6つの小品 (1946)

F. Schubert (1797 - 1828) 幻想曲 f-moll op. 103 D.940 (1828) 四手連弾

演奏者:

Andrzej Wróbel wiolonczela

Aleksandra Resztik sopran

Yuka Hattori fortepian

Misato Tokuda fortepian

司会 (ポーランド語)

Koharu Piskorska

入場無料

<http://www.chopin.edu.pl/pl/?m=20170423&cat=5>(ポーランド語サイト)

この資料は、ポーランドの政治・社会情勢を中心に、各種報道をとりまとめたものです。

報道をベースにしておりますので、記載事項の信頼性については責任を負いかねます。

記載事項は在ポーランド日本国大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。

皆様からの情報提供をお待ちしています

大使館では、読者の皆様に幅広くポーランドの情報をお伝えするため、皆様からの情報をお待ちしています。社会・生活情報やおすすめのイベント、困ったことなど、皆様に伝えたいと思われる情報があれば、下記のアドレスまでご連絡ください。(営利目的など、内容によっては対応できかねる場合もありますのでご了承ください。)

【お問い合わせ・配信登録】

本資料は、ポーランドに関心のある方であれば誰でも受け取ることができます。「新たに配信を受けたい」、「送付先メールアドレスを変更したい」、「配信を停止したい」等の依頼につきましては、下記のアドレスまでご連絡ください。

大使館ウェブサイト(http://www.pl.emb-japan.go.jp/index_j.htm)も併せて御覧ください。

news@mail@wr.mofa.go.jp(ご連絡は電子メールでお願いします。)